

「地域若者サポートステーション」事業の今後のあり方に関する検討会資料

工藤構成員提出資料

平成24年10月4日

地域若者サポートステーション事業 今後のあり方に関する検討会

第2回検討会



NPO法人「育て上げ」ネット

○たちかわ若者サポートステーション ○かわぐち若者サポートステーション
○大阪市若者サポートステーション ○かわさき若者サポートステーション

本日本お伝えしたいこと

- ▶ PRのための取り組み
- ▶ 企業連携の取り組み
- ▶ データ集計の取り組み
- ▶ 今後のあり方について／課題

▶ PRのための取り組み

マス

自社PR



他社PR
(他者)

パーソナル

さまざまなPR手段を戦略的に行うことで、広くアウトリーチをかける

▶ 企業連携の取り組み

日本マイクロソフト株式会社
- 24カ所のサポステが協働 -

地元中小企業と直接連携以外の連携

例えば：多摩信用金庫
川口青年会議所など

個別の連携前に既存ネットワークをお借り
することで「開拓」のレバレッジが効きやすい



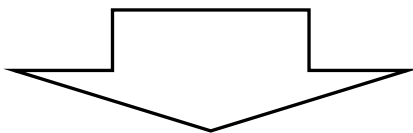
株式会社リクルート
- 16カ所(+12)のサポステが協働 -



地元中小企業からグローバル企業まで広く協働を模索する
複数のサポートステーションが連携して企業との協働にも取り組む

▶ データ集計の取り組み（試み）

- インタークシートを作成
 - 法人全体で「最小公倍数」を意識して作成
 - サポステ以外の支援事業とも共通インフラを活用することで分析／研究に生かしている
- 定性的な情報を可能な限り定量化
 - 成育歴から就職等進路決定までのプロセスを可視化／共有化することで支援の均質化を目指す



多様な専門家が共通情報を持つことで、より高いコミュニケーションで支援の質とスピード（効率）をあげていく

▶ 今後のあり方について・課題

- 支援対象と支援の深度が拡充するなかでの課題
 - 物理的な限界（人数×時間）への対応
 - 上記に伴い「質」の向上／均質化のための研修機会（時間）の確保
- キャリア・コンサルタントの力を最大化する
 - キャリア形成とそれ以外（事務運営など）を切り分けられる仕組みの構築
- ハローワーク等の機能を最大化するために、サポステ機能を体系化／整備して連携を計れるようにする
- 成果／評価：無業（0）→ 進路決定（1）の間に
ある変化／プロセスに着目〈SROIの導入〉

たちかわ若者サポートステーション利用者の声

目標が明確になった

◆ “目標が明確になり、**目標に向けた努力**ができるようになった。一人で考えているよりちゃんとした考えになる。”

(5.5年ブランクの20代後半女性●IT系アルバイトで就労中)

自信がもてるようになった

◆ “**転職活動に怖い感情**がありましたが、サポステで相談できることは、今の私にとって**心を開いて**話せる場所、**自信をもてるようになった**場所となっています。”

(1年間就職が決まらず自己否定感が強くなっていた20代後半女性●正社員で内定)

◆ “単身「社会」へ飛び込む自分に**勇気と安心を**与えてくれました。サポステを離れてもそれは僕のお守りです。”

(8年間引きこもりの20代男性●アルバイトで就労中)

心の拠り所となっている

◆ “何よりも収穫だったのは、信じがたいけど、世の中には僕なんかを**手助けしてくれる人たちがいる**という事実を知ったことでした”

(高校卒業以来ブランクの20代半ば男性●清掃業でアルバイトを開始)

どう行動したらいいのかがわかった

◆ “仕事をしている時の自分を第三者の立場からとらえることで、それまで漠然と思っていた、業務態度、人とのかかわりかた、取り組み姿勢などで、**自分の何を変えたらいいのかが**はっきりわかるようになった。**変える意欲**につながった。”

(5年以上のブランクがあり社会生活に不慣れな20代後半女性

☛ウェブ関連業界で社会人として着実に前進中 ※定着支援のケース)

◆ “自分のやっていることの再確認ができ、**同じ失敗をしないために何をしたらいいのかが**明らかになった。”

(仕事場でミスを繰り返す悩みを抱えた20代女性

☛行動改善に向けて支援続行中 ※定着支援のケース)

自分の強みや活かせるスキルがわかった

◆ “仕事をしたことのない自分には、すでに**持ってる経験、自分の特性の中から仕事で生かしていけるものが何かを発掘していく**作業が役立ちました”

(高卒で就労経験なしの20代半ば男性☛4社から内定)

自分を客観視できるようになった

◆“相談で第三者の意見を聞くと自分を**客観視できる**ようになり、自分を変えていくためのたくさんの**気づき**がありました。サポステでの時間は自分を客観視するための貴重な時間です”

(自身の事を上手く表現できず面接連続不合格だった20代女性

☛事務職で2社内定)

◆“一人でこもってネットなりで調べた情報だけでは、**どうしても独りよがりな考えになってしまうのを客観的に指摘**してもらえるのが、とても助かりました”

(大卒後アルバイトのみの経験しかなかった30代前半男性

☛専門資格取得後、IT系企業で派遣社員として就労中)

新しい道がひらけた

◆“**親には就職を考える前に病院に行くことを勧められていた**けれど、サポステに来たおかげでバイトで働き始めることができました。サポステの**助けがなければできなかった**と思う”

(障害枠/一般枠のグレーゾーン層の30代女性

☛一般枠でアルバイトで就労中)

◆“バイトではいつも短期間で解雇になっていたので、**働くことをあきらめかかっていた**。サポステスタッフに**出会ってなければ、今の仕事にはつけていないと思います**”

(職場で馴染めないことが多かった20代男性

☛アルバイトで就労が決定後、現在は同じ職場で正社員として就労中)

たちかわ若者サポートステーション利用者の声（保護者相談）

コミュニケーション方法がわかった

◆“息子が恐くて、**顔すら見れなくなっていた**状態でしたが、サポステの方の助言をもとに、息子が好きな「料理をすること」をきっかけに**コミュニケーションがとれる**ようになりました。”
（仕事での失敗を機に自室に5年間ひきこもり両親を拒絶し続けた20代後半男性の母親
☛両親からのサポステへの誘いを受け入れ、面談と研修を受けながら就労準備中）

気持ちが楽になった

◆“過去に息子を責めてしまった反省から、彼を受容しなければならないという気持ちが強くなりすぎて社会にでてほしいと**本人に対して言えなくなっていました**。サポステの方に相談するなかで、**気持ちの呪縛がなくなり**、具体的な本人への**接し方のアドバイスをもらった**ことで前に進むことができました”
（大学中退後5年間のひきこもり生活だった20代前半男性の父親
☛仕事と将来の話は禁句だった状態が解けてサポステへの来所が実現、支援中）

たちかわ若者サポートステーション利用者の声（外部連携機関）

一般企業

◆“サポステ事務局の熱心な指導を受けていることで、**前向きで努力家の方たちばかりを紹介**いただいております。”

（流通関連業界の人材派遣業）

◆“不景気で未就労者が増える中、会社で働くイメージをつかみ、働く楽しさや喜びを掴むきっかけ作りとして、ジョブトレーニングの機会を提供する企画を始めましたが、**社会的な貢献**ができることはもちろんのこと、**弊社においてもこの取り組みで得るところはとて多い**です”

（ジョブトレーニング企画などで連携している一般企業）

職業訓練機関・就労支援機関

◆“**紹介の目的が明確**であり、これまでサポートステーションでご本人がどのように活動してきたかなどが**紹介状に丁寧に書かれている**ので、本人理解の際の参考になりとてもありがたい。ご本人の特性に合わせた支援など勉強になった”

（障害者専門の支援機関）

◆“自分のところでは、いろいろと試行錯誤しさまざまな支援機関を紹介したが、なかなか本人¹²が紹介先とうまくつながれなかった**難しいケースをまでつないでもらって助かった**”

（ハローワーク）

たちかわ若者サポートステーション利用者の声（外部連携機関）

職業訓練機関・就労支援機関

◆“なかなか本人が動きだせなかったのを、サポステにお願いしたおかげで背中押しをしてもらえ、支援を前に進めることができました”
（保健所）